

公告 第552号

平成26年7月29日

SCSK健康保険組合
理事長 古森 明

平成26年7月25日開催の第87回組合会において、平成25年度収入支出決算が承認されたので、別紙のとおり公告する。

平成25年度

決算のお知らせ

- ☑ 平成26年7月25日開催の第87回組合会において、平成25年度決算が承認されました。
決算内容はほぼ予算どおりとなり、平成18年度より7年連続で赤字となりました。
- ☑ 今回の決算も被保険者、事業主の皆様からの保険料収入だけでは医療費等の保険給付費と高齢者医療制度に拠出する納付金の増加に対応できず、別途積立金を取り崩すことによって赤字を補填しました。
- ☑ なお、平成25年度は保険給付費の伸びが大きく、期首の予算では支出が不足する可能性があったため、期中に予算変更を行っています。

 決算概要

I 決算基礎数値

	平成24年度決算	平成25年度決算
事業所数（3月末現在）	23	23
被保険者数（年間平均）	13,765人	14,068人
被扶養者数（3月末現在）	11,716人	11,916人
扶養率	0.85人	0.84人
平均年齢	38.41歳	39.13歳
平均標準報酬月額	399,177円	401,058円
総標準賞与（年間合計）	17,220,681千円	15,180,062千円
一般保険料率	62.62%	62.58%
調整保険料率 ※1	1.38%	1.42%
保険料合計	64.00%	64.00%
前期高齢者数 ※2	113人	156人

※1:各健保組合で高額な医療費を共同で負担したり、財政の苦しい健保組合に助成金を出すために納入いただく保険料

※2:65歳から74歳までの被保険者と被扶養者

I 平成25年度決算内容と決算推移

① 総額

収支（千円）	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 決算	平成26年度 予算
保険料	3,609,685	5,185,063	5,144,039	5,959,942
別途積立金 ※1	440,000	537,105	1,333,455	1,733,708
繰越金 ※2	0	0	83,001	100,000
その他	182,295	258,900	288,143	240,354
収入合計	4,231,980	5,981,068	6,848,638	8,034,004
保険給付費	2,262,763	3,014,734	3,309,178	3,566,223
前期高齢者納付金 ※3	185,055	524,565	793,893	1,376,318
後期高齢者支援金 ※3	1,005,538	1,134,388	1,385,392	1,664,653
退職者給付拠出金 ※3	228,319	359,306	358,998	353,060
老人保健拠出金 ※3	42	267	31	32
保健事業費	232,938	524,376	554,517	601,516
予備費 ※4	0	0	0	167,574
その他	231,184	262,869	273,131	304,628
支出合計	4,145,839	5,820,505	6,675,140	8,034,004
収支（千円）	86,141	160,563	173,498	0

財産(千円)	準備金 ※5	1,334,0000	1,334,000:	1,334,000:	1,334,000
	別途積立金 ※1	4,915,520	4,455,899:	3,195,783:	1,462,075

※1:取崩して収入とすることが可能な積立金

※2:前年度決算残金のうち、当年度へ繰越した費用

※3:前期高齢者、後期高齢者、退職者、老人保健の各高齢者医療制度を支えるのための負担金

※4:他の科目に不足が生じた場合、補てんするために使用する費用

※5:保険給付や納付金等の支出の資金が不足した時に備えて法律で義務付けられている積立金

② 被保険者 1人あたり

収支 (円)	平成23年度 決算	平成24年度 決算	平成25年度 決算	平成26年度 予算	
保険料	324,087	376,685	368,986	430,632	
別途積立金	39,504	39,020	95,650	125,268	
繰越金	0	0	5,954	7,225	
その他	16,367	18,809	20,669	17,367	
収入合計	379,958	434,514	491,259	580,492	
保険給付費	203,157	219,014	237,370	257,675	
前期高齢者納付金	16,615	38,109	56,947	99,445	
後期高齢者支援金	90,280	82,411	99,375	120,278	
退職者給付拠出金	20,499	26,103	25,751	25,510	
老人保健拠出金	4	19	2	2	
保健事業費	20,914	38,095	39,776	43,462	
予備費 ※4	0	0	0	12,108	
その他	20,756	19,097	19,592	22,011	
支出合計	372,225	422,848	478,814	580,492	
収支 (千円)	7,733	11,666	12,445	0	
財産(千円)	準備金	119,770	96,912	95,689	96,387
	別途積立金	441,329	323,712	229,236	105,641

Ⅰ 財産の経年推移 (過去5年間)

(単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
法定準備金	1,334,000	1,334,000	1,334,000	1,334,000	1,334,000
別途積立金	5,549,441	5,269,499	4,915,520	4,455,899	3,195,783
合計	7,244,441	6,864,739	6,509,077	6,047,477	4,783,379

決算の主なポイント

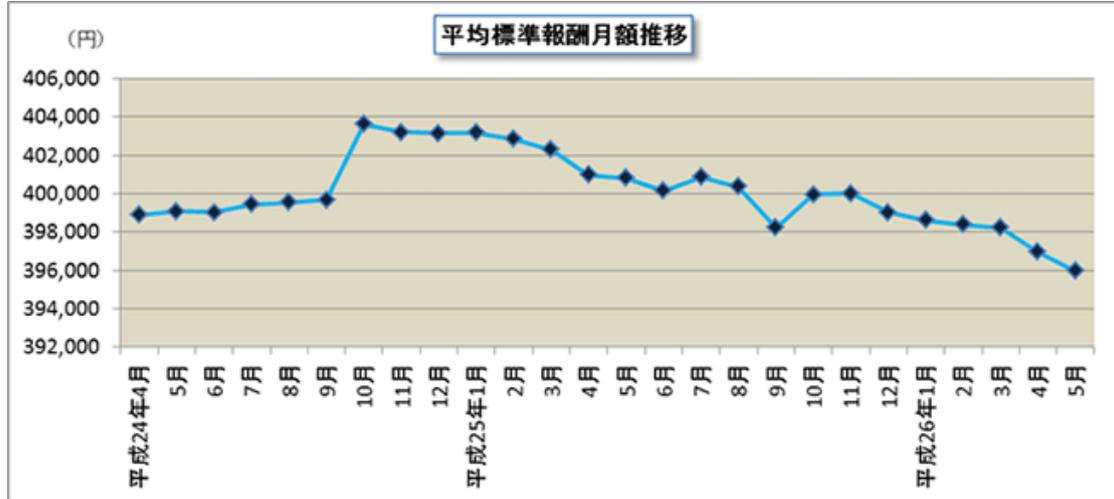
収入

◇保険料

約51億の保険料収入となりました。

下記グラフのとおり近年の平均標準報酬月額は少しずつ減少しています。

保険料は健保組合の唯一の収入であるため、平均標準報酬月額の減少は保険料収入への影響が懸念されます。

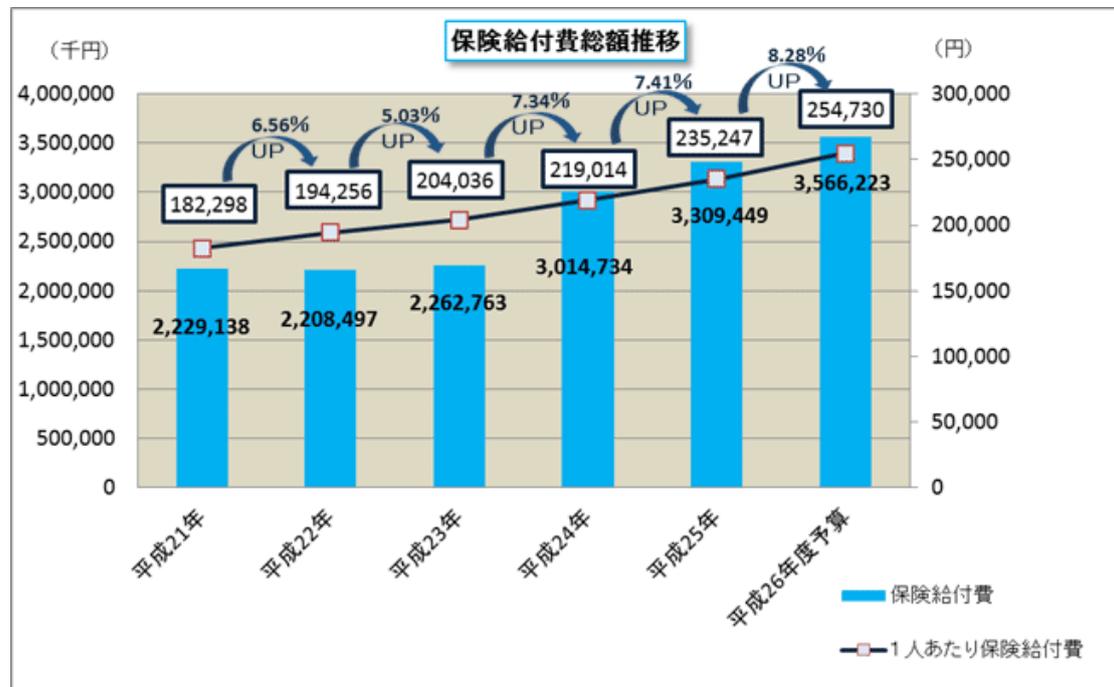


支出

◇保険給付費

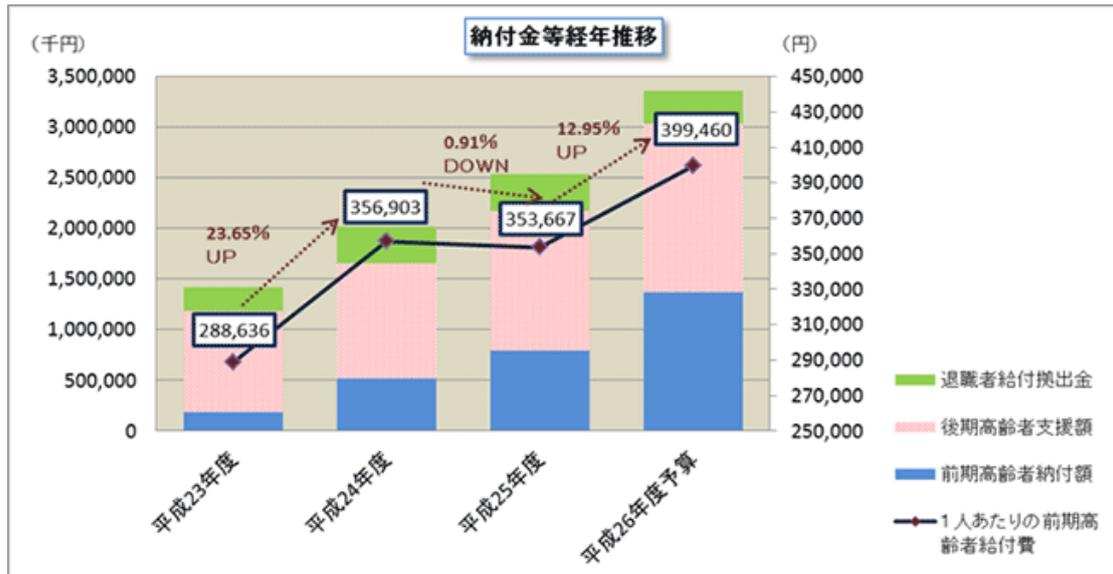
医療費の支出ですが、約34億円の予算に対し、約33億円の支出となりました。

当健保では下記グラフの通り、医療費が年々増加しています。



◇納付金等

前期高齢者納付金、後期高齢者支援金、退職者給付拠出金、老人保健拠出金等の高齢者医療制度への負担金（医療費の一部を各健康保険組合が負担）が、高齢化や医療の進歩等により、医療費が膨らみ、当健保でも負担額が年々増加しています。



・・・前期高齢者納付金・・・

65歳から74歳までの方が前期高齢者となります。全国に約1,600万人おり、その8割が国民健康保険に加入していません。平成24年に団塊の世代が65歳に到達し始めたことから、全国の前期高齢者数及び前期高齢者の医療費は高水準で推移することが見込まれています。

この前期高齢者の医療費の約2割を全健保組合で負担していますが、負担額の按分方法が平成27年度から変更される予定となっており負担額が増加する見込みです。

・・・後期高齢者支援金・・・

75歳以上の方は後期高齢者となります。後期高齢者が加入する後期高齢者医療制度は、すべての市区町村が運営する「広域連合」が運営しており、国民健康保険や健保組合等の一般の医療保険制度からは独立しています。なお、この後期高齢者の医療費の約4割を後期高齢者支援金として健保組合や協会けんぽ等が負担しています。

・・・退職者給付拠出金・・・

退職者医療制度は上記2つ医療制度の創設に伴い廃止となりましたが、移行期間として、平成26年度までは65歳未満の退職者本人と被扶養者が同制度の適用を受けることとなります。すべての加入者が65歳以上になった時に完全に廃止となり、退職者給付拠出金の負担もなくなる予定です。

🌿 保健事業をご利用ください

平成25年度の医療費の使用状況を見ますと、個人によってその使用額には大きな差があります。被保険者数は約14,000人、年間医療費合計は約13億円ですが、内訳としては被保険者の18%に当たる約2,600の方が、年間医療費の72%に当たる約9億円を使用しています。

また、被扶養者においては、被扶養者数は約12,000人、年間医療費合計は約13億円ですが、内訳としては被扶養者の25%に当たる約2,900の方が、年間医療費の75%に当たる約10億円を使用しています。これは、一部の重症の方たちの医療費が、医療費の大半を占めていることを表していると考えられます。

平成25年度 医療費分布・累計

① 被保険者

年間医療費(円) ※健保負担分	人数(人)	合計医療費(円)	1人あたり 平均医療費(円)	人数割合	医療費割合
100,001以上	2,584	928,463,804	359,313	18.37%	72.07%
1~100,000	10,607	359,857,471	33,926	75.40%	27.93%
合計 (医療機関受診者)	13,191	1,288,321,275	97,667	93.77%	100.00%
平成25年度 平均被保険者数	14,067			100.00%	

② 被扶養者

年間医療費(円) ※健保負担分	人数(人)	合計医療費(円)	1人あたり 平均医療費(円)	人数割合	医療費割合
100,001以上	2,924	1,005,568,847	343,902	24.83%	75.26%
1~100,000	8,555	330,590,520	38,643	72.65%	24.74%
合計 (医療機関受診者)	11,479	1,336,159,367	116,400	97.49%	100.00%
平成25年度 平均被保険者数	11,775			100.00%	

上記より、皆様の健康維持・増進、健保の医療費適正化のためには、疾病予防と重症化予防が大切なことがわかります。もちろんすべての疾病が予防可能なわけではありませんが、いわゆるメタボリックシンドロームは生活習慣改善によって予防可能であり、がんについても人間ドック等による早期発見、早期治療が可能です。

当健保では、人間ドックを積極的に実施し、メタボリックシンドローム予防のために特定保健指導、生活習慣改善として喫煙対策等を行っています。人間ドック受診率は、被保険者においては比較的高率ですが、事業所からは人間ドック受診後の2次検査、病院への受診状況がよくないとの報告を受けています。

また、残念ながら特定保健指導や喫煙対策の参加状況が芳しくありません。

健康維持・増進のため、当健保の保健事業をご活用いただきたく、お願いいたします。